みまもりを!!

-大槌町見守り活動のキャッチコピー

見守り活動の目的 ------

お住まいの地域において、地域の住民や支援者等が行う 「あいさつ」、「声かけ」、「生活の様子を気にかける」などと いった日常の活動を通じて、共に支え合い、安心して暮ら し続けることができる地域づくりを進めることです。

見守り活動を実践することで、支援が必要になった方に 早い段階で専門機関や地域の人たちが支援の手を差し伸べ

高齢者見守りのポイント・サイン



郵便受けに貯まったまま



カーテンや雨戸が何日も 閉まった状態になっている



何度訪問しても応答がない



異臭がする





大量に購入している



怒鳴り声や悲鳴が聞こえる



服が汚れている・季節に 合わない服装をしている



しなくなった



介護者を抱え、家族に 疲れている様子がある



私たちが相談に

・どちらの場合でも、迷った場合はまず連絡し、判断を仰いでください。 いつもと違った感じがする… 何か様子が変だな…

・異変を感じた際は、警察へ安否確認として連絡してください。

・明らかに救急対応が必要な場合は119番通報してください。

そんな時はお知らせください。

高齢者らの異変に気付いた時には 大槌町地域包括支援センターにご連絡ください。







保健師

社会福祉士

【お問い合わせ】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

主任ケアマネジャー

新しい地域で、さりげない見守りを ~つながりと支えあい~

ち約37%に当たる4,347 なかなか創れない場合があります。 前からある自治会や町内会も再建した たことが要因の一つです。また、震災 しなければならなかった世帯が多かっ 人に関わる機会が少なく、 令和元年12月末時点における、 震災により住めなくなった地域もあ 住み慣れた地域を離れて住宅再建

つながりを

1,666人で、

そのう

段階で手を差し伸べることもできま の中で支援を必要としている方に早い していける地域をつくることで、 「あいさつ」や 「声かけ」を

境は大きく変化し、再建した地域で新 進む一方で、 は簡単なことではありません。 しいつながりを創ることが難しい場合 目を迎え、町内での住宅再建は着実に ようになり、昨年10月には計画してい した地域で新しいつながりを創ること 町内で多くの新築の住宅を見かける 地域のつながりや生活環 しました。震災から9年

地域とのつながりを創る

合いは、日頃の生活で困っ たときに支えあうことがで すつ付き合いができるよう 活動などをとおして、 りませんでしたが、自治会 を合わせる機会はあまりあ 地区に再建した人たちと顔 はじめのうちは、この した。近所の付

日沢自治会 東 梅 英 夫 会長 さん

臼沢には自治会



地域とのつながりを支える

民のみなさんといっしょに域のつながりづくり」に住ざまな活動を通して、「地 かけあうなど、交流りかけあうなど、交流りでしては、住民同士で声を 活動や住民支え合いマップ 取り組んでいます。 を始める方も少なくあり また一からご近所づきあ います。再建先の地域で、にサロン活動などを行っ 大槌町社会福祉協議会で 町内の仮設住宅や 私たちは、 日々さま サロン

大槌町社会福祉協議会 生活支援相談員



や町内会がなく、 や住宅再建がとても多いで には寺野・三枚堂地区も含 災害公営住宅 少し